

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月27日更新

事務事業名		県・菊池管内・品評会出頭祝金事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	事業部	課長名	立山和文
	施策	11	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	可徳誠
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定				所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款6	項1	目11	事業連番10284	法令根拠	成果優先度評価結果：⑪ コスト削減優先度評価結果：⑥		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	家畜の体系資質の改良を促進するため、畜産農家が品評会に出頭したときに支払う。 ●【県品評会】1頭 10,000円 2頭目以降 5,000円【菊池品評会】1頭 5,000円 2頭目以降 3,000円 ●平成24年度から、出品頭数1頭につき5,000円、飼料作物出品者は、3,000円
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①出頭祝い金請求の受付 ②兼命令にて口座振込み
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 出品者から同じ組合員であっても、どこの市町に住んでいるかで、市町ごとに祝金の条件や額が違うということがあるので、近隣の市町と足並みを揃えてほしいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)		24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
品評会出頭祝金を交付した		品評会出頭祝金を交付する
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:支払件数(延べ)	件	出頭全頭に祝金を交付することによる報償費の増。
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
畜産農家	件	→ア:畜産農家数
→イ:		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
良質牛を出品してもらおう。乳牛・肉牛の体系資質の改良、生産効率の高い牛群を増やしてもらうことを目的とする。	頭	→ア:出品頭数
→イ:		→イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画～年度
多くの良質牛を出品してもらうために成果指標を「出品頭数」とした。目標値については、平成23年度30頭の実績に基づき30頭とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標		ア 件 イ	12	2	20	18	20	25	25	25	
② 対象指標		ア 件 イ	130	124	130	119	130	130	130	130	
③ 成果指標		ア 頭 イ	12	2	30	30	30	30	30	30	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	48	20	280	274	400	400	400	400
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	48	20	280	274	400	400	400	400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間		時間	50	50	50	50	50	50	50	50
	(B)人件費計		千円	199	206	206	201	206	206	206	206
トータルコスト(A)+(B)		千円	247	226	486	475	606	606	606	606	

事務事業名	県・菊池管内・品評会出頭祝金事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度的事後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 平成22年度は口蹄疫の影響で品評会がほとんど中止されたが、本年度は例年通り開催されたため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成23年度は概ね目標を達成しており、来年度も多くの品評会が行われる予定であるため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 口蹄疫は国内では発生しておらず、品評会も実施できる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 廃止した場合、出頭する畜産農家が減少し、畜産振興が損なわれる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 畜産振興のための事業であり、行政の施策として適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成23年度は概ね目標を達成できた。平成24年度は出品全頭に出頭祝金を交付する。そのため、事業の目的と趣旨を改めて理解してもらうため、関係機関や各農家に対して周知を図る必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策